

2022年3月期 第3四半期  
**決算説明資料**

2022年1月31日



**ITmedia Inc.**

**アイティメディア株式会社**

証券コード：2148 東証第一部

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。
- 当社の業績に影響を与える事項は「2021年3月期有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。
- 本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。
- この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。
  
- 当社は、2016年度第1四半期決算より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたしました。
- 2020年3月期において、ナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡を実行したことに伴い、同社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損益は、要約四半期損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上収益および営業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、2019年3月期についても同様に組み替えて表示しております。

# 2022年3月期 第3四半期業績概況

## Q3 過去最高

✓ 前期に続き高成長継続

✓ 売上収益 5,715百万円 (18%増)

リードジェン事業 9% 増 ・マーケティングのデジタルシフト継続

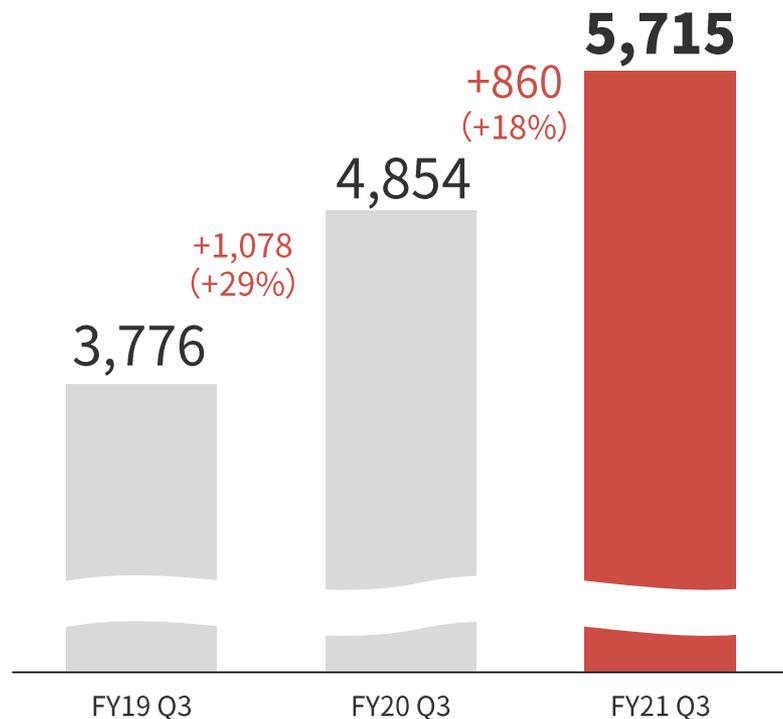
メディア広告事業 25% 増 ・DX加速背景に製造系／ビジネス系顧客ニーズ拡大

・主催型デジタルイベント好調

・運用型広告収益拡大

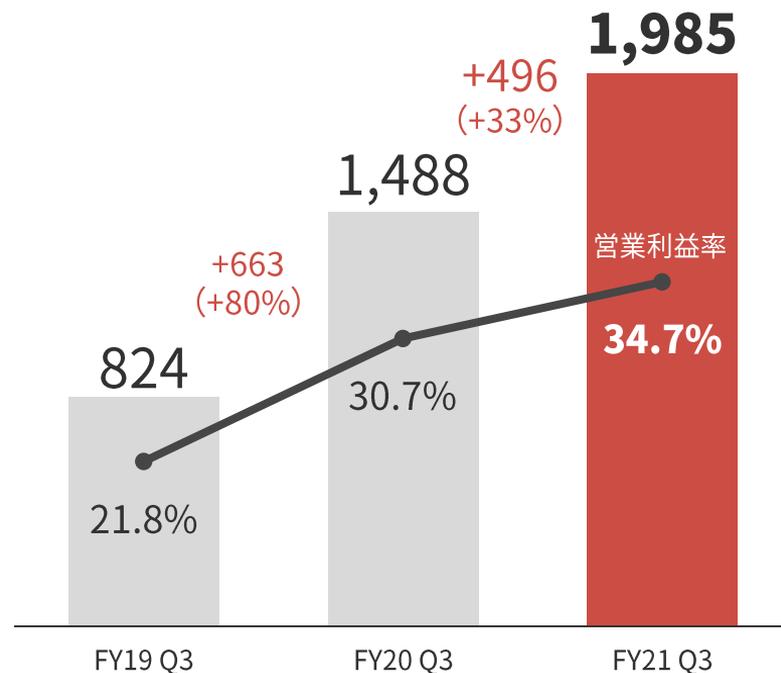
✓ 営業利益 1,985百万円 (33%増)

## 売上収益



## 営業利益

(百万円)



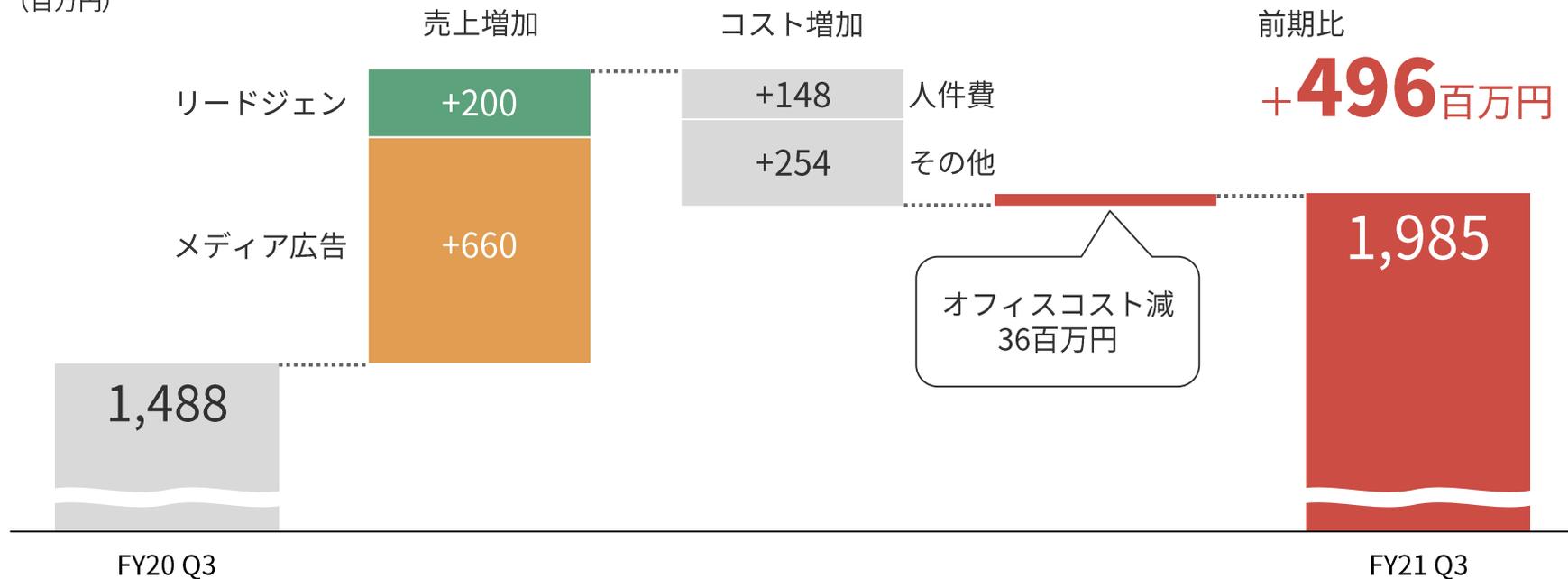
連結損益計算書（累計）

（百万円）

	FY20 Q3		FY21 Q3		増加額	増減率
	金額	売上比	金額	売上比		
売上収益	4,854	100.0%	5,715	100.0%	+860	+17.7%
総コスト	3,366	69.3%	3,729	65.3%	+363	+10.8%
（うち人件費）	1,886	38.9%	2,035	35.6%	+148	+7.9%
EBITDA	1,735	35.7%	2,195	38.4%	+460	+26.5%
営業利益	1,488	30.7%	1,985	34.7%	+496	+33.4%
税引前利益	1,431	29.5%	1,976	34.6%	+544	+38.1%
四半期利益	954	19.7%	1,343	23.5%	+388	+40.7%
親会社の所有者 に帰属する四半期利益	954	19.7%	1,343	23.5%	+388	+40.7%

## 増収により増益。成長領域への投資継続

(百万円)



## 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	FY20Q3	FY21Q3	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	1,550	1,242	▲308
投資活動による キャッシュ・フロー	▲99	▲40	+59
財務活動による キャッシュ・フロー	▲435	▲1,163	▲727
現金及び現金同等物の 増減額	1,014	39	▲975
現金及び現金同等物の 期首残高	4,302	5,877	+1,575
現金及び現金同等物の 期末残高	5,317	5,916	+599

### 営業CF 主な内訳

税引前四半期利益	+1,976
法人所得税の支払額	▲918

### 投資CF 主な内訳

有形固定資産及び無形資産 の取得による支出	▲48
事業譲受による支出	▲40
差入保証金の回収	+48

### 財務CF 主な内訳

新株の発行による収入	+173
配当金の支払	▲396
自己株式の取得による支出	▲800
リース負債の支払	▲135

# 連結財政状態計算書

(百万円)

		21年3月末	21年12月末	差異
資産の部	流動資産	7,667	7,471	▲195
	非流動資産	1,407	1,454	+47
	資産合計	9,074	8,926	▲147
負債の部	流動負債	1,894	1,536	▲358
	非流動負債	62	87	+24
	負債合計	1,957	1,624	▲333
資本の部	資本金/資本剰余金	3,661	3,827	+166
	利益剰余金	3,607	4,554	+947
	自己株式	▲344	▲1,144	▲800
	他包括利益累計額	192	64	▲127
	親会社の所有者に 帰属する持分	7,117	7,302	+185
	資本合計	7,117	7,302	+185
1株当たり 親会社の所有者に帰属する持分		359.11円	369.64円	+ 10.53円
親会社所有者帰属持分比率		78.4%	81.8%	+ 3.4pt

## 資産合計

営業債権及びその他の債権	▲211
その他の金融資産	▲234
使用権資産	+219

## 負債合計

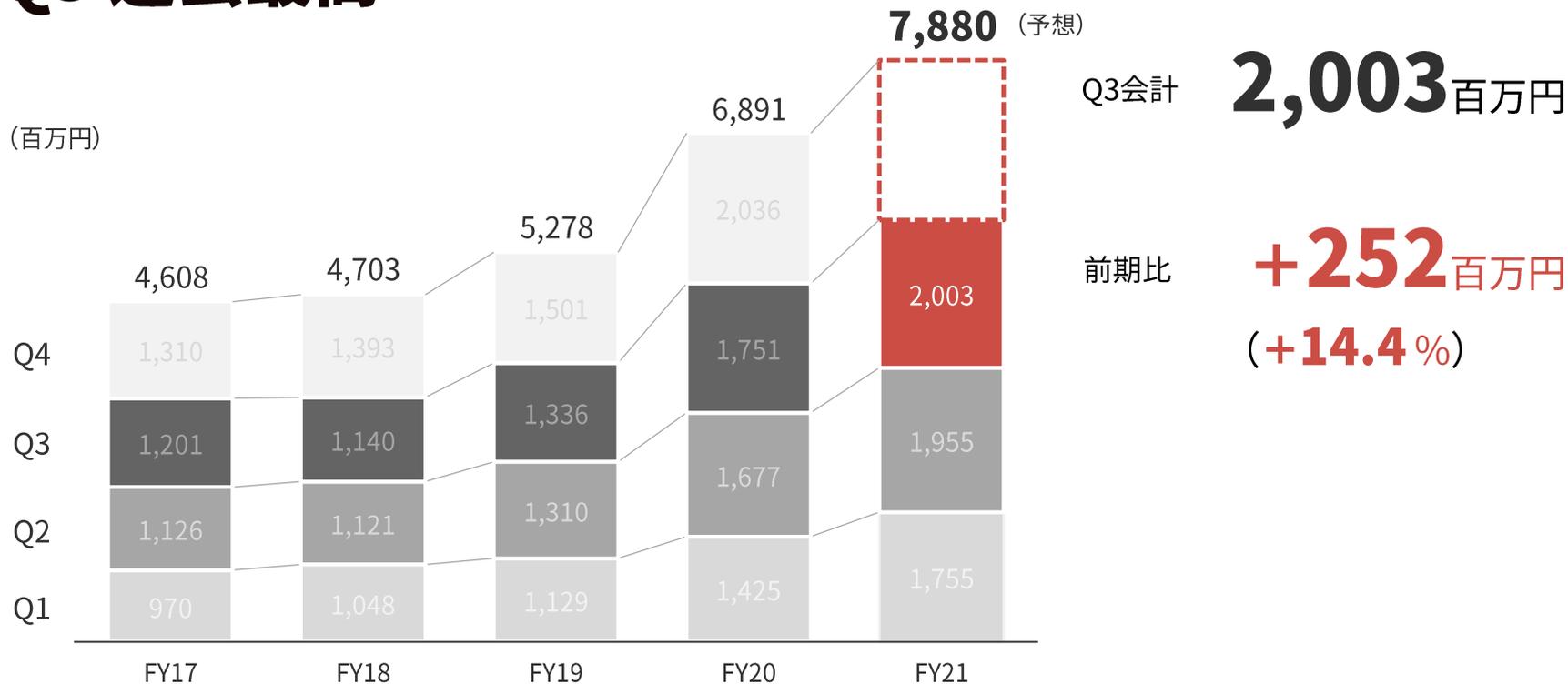
リース負債	+202
その他の流動負債	▲180
未払法人所得税	▲286

## 資本合計

資本金/資本剰余金	+166
利益剰余金	+947
うち、四半期利益	(+1,343)
うち、剰余金の配当	(▲396)
自己株式	▲800

売上収益（四半期別）

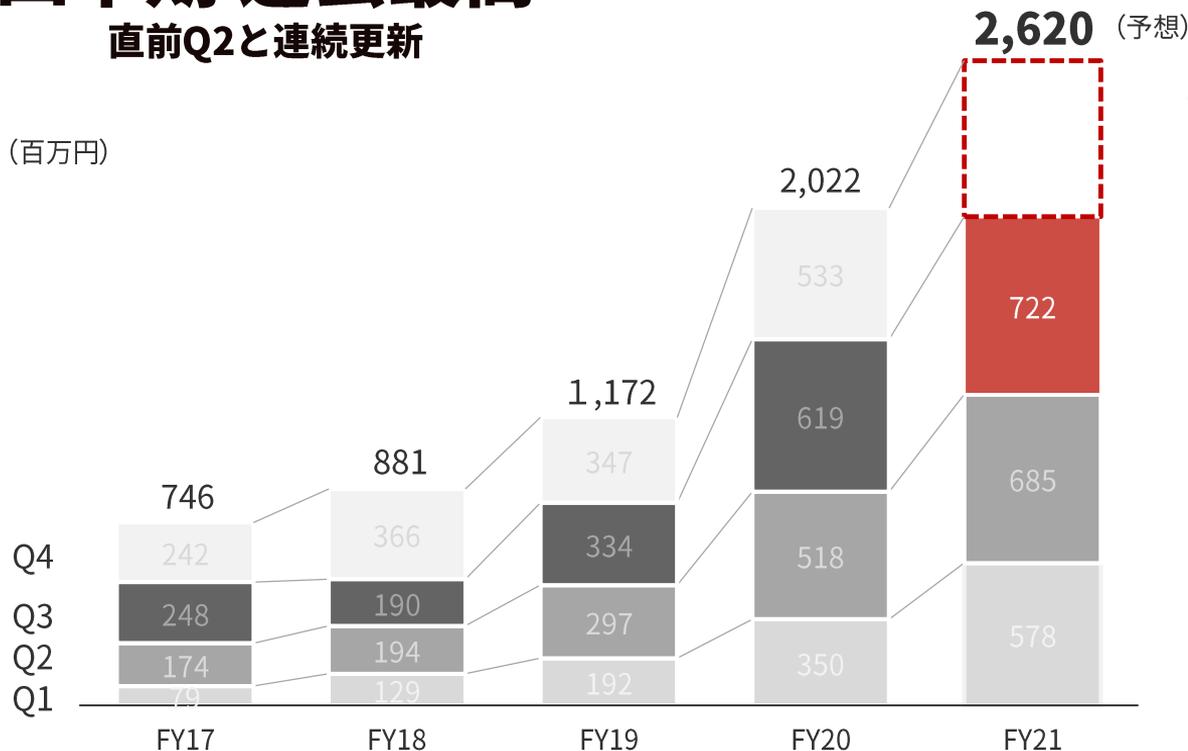
# Q3 過去最高



# 四半期 過去最高

直前Q2と連続更新

(百万円)



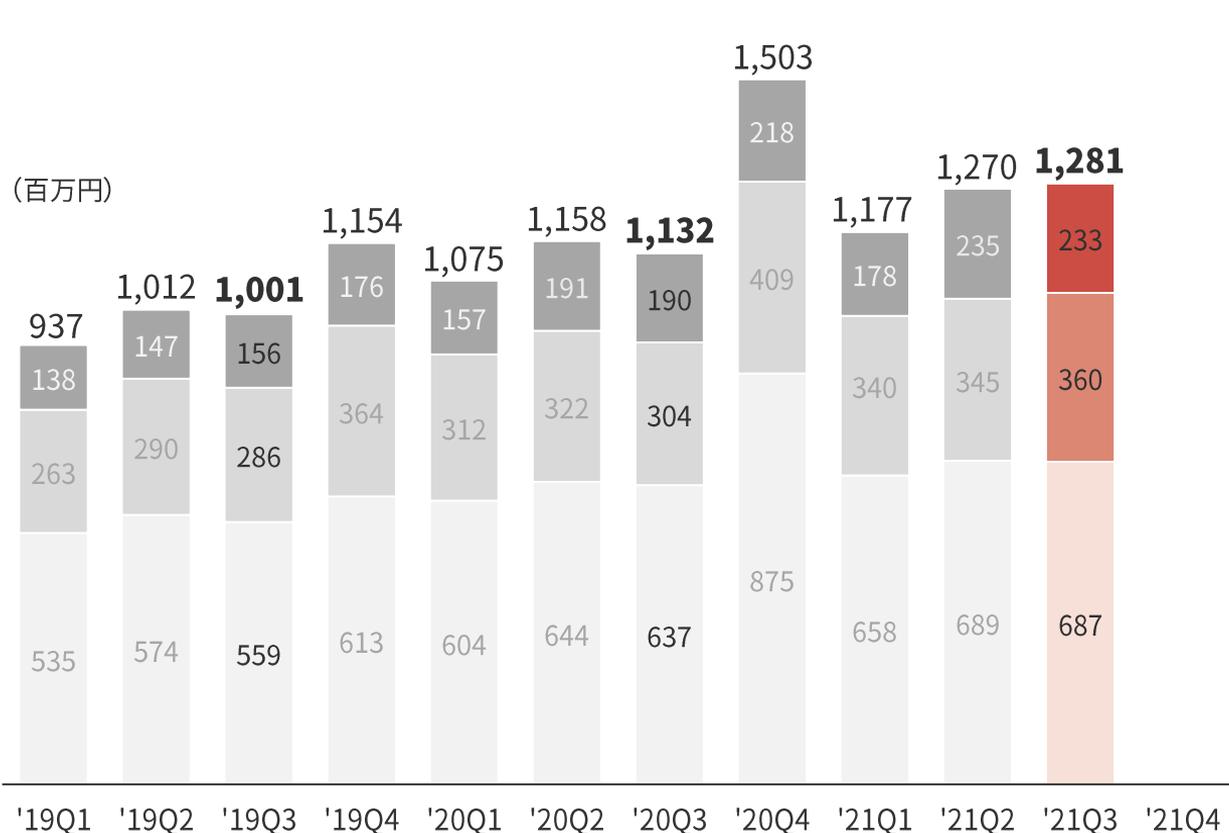
Q3会計

**722**百万円

前期比

**+102**百万円  
**(+16.6%)**

## コストの内訳 四半期推移



Q3会計	前期比	構成比
合計	+13.2%	100%
外注費	+22.9%	18.2%
その他	+18.3%	28.2%
人件費	+7.9%	53.6%

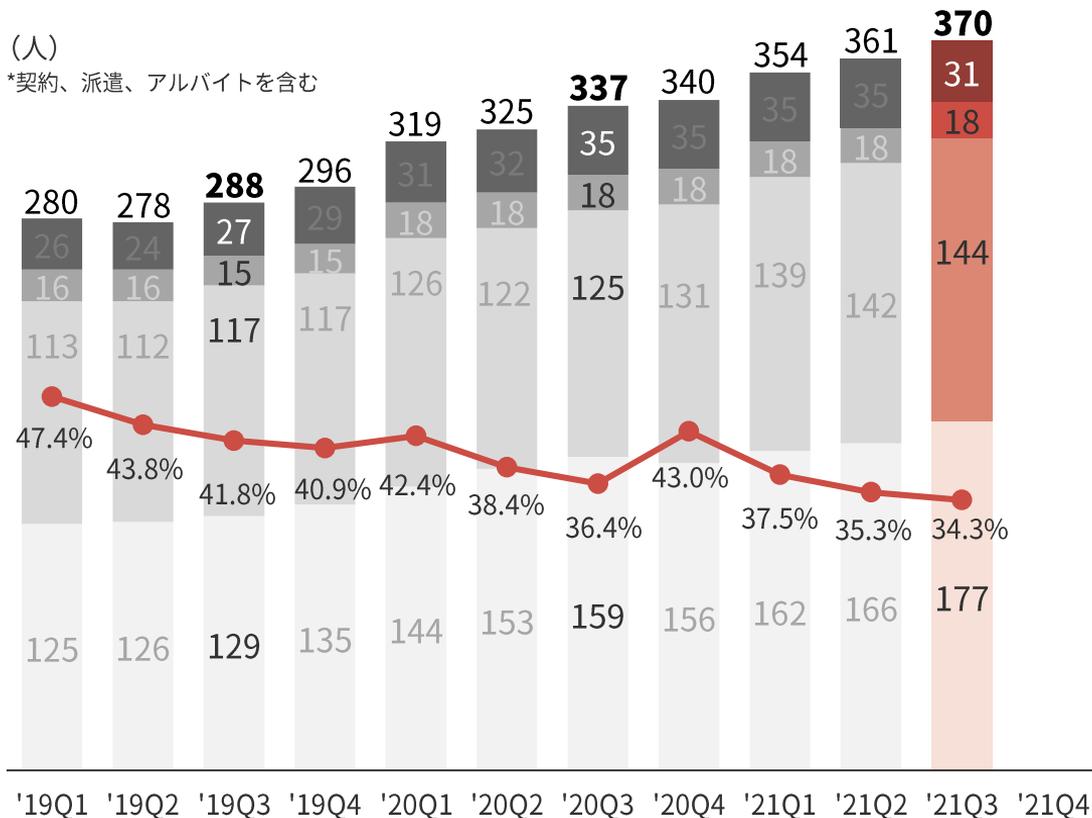
### [主な前期比増減要素]

- 人件費+50
  - ・ 成長領域での人員増加
- 外注費+43
  - ・ デジタルイベント拡大に連動
- その他+55
  - ・ 業務環境、システム
  - ・ オフィスコスト減

## 従業員の内訳 四半期推移

(人)

\*契約、派遣、アルバイトを含む

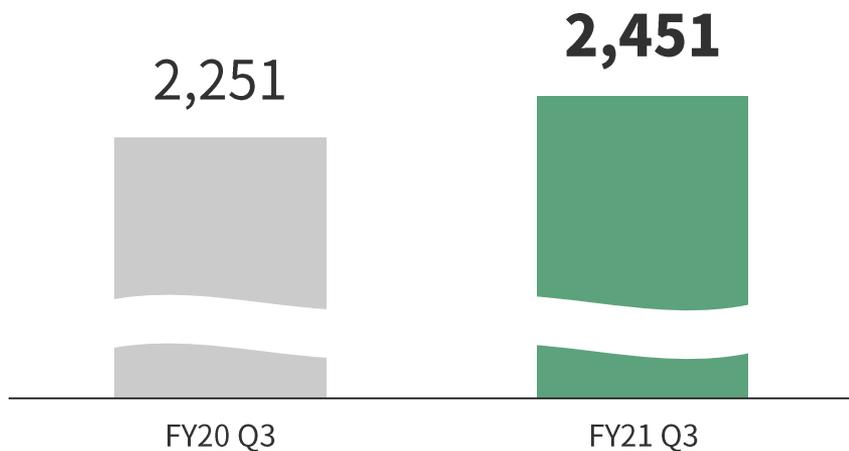


Q3会計	前年同期比	構成比
合計	+33人	100%
管理系・その他	▲4人	8.4%
技術系	±0人	4.9%
営業・企画系	+19人	38.9%
編集系	+18人	47.8%

$$\text{売上収益人件費率} = \frac{\text{【販管費】人件費} + \text{【原価】労務費}}{\text{売上収益}} \times 100$$

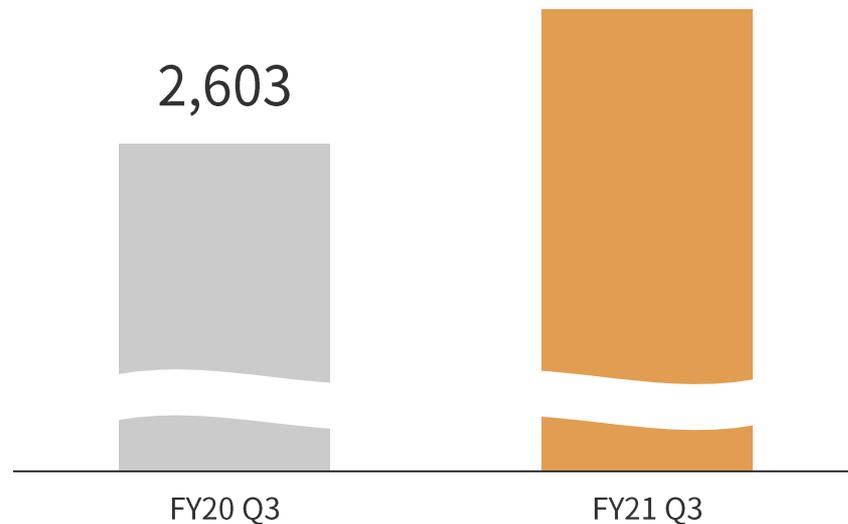
## リードジェン事業

**+200**  
(+9%)

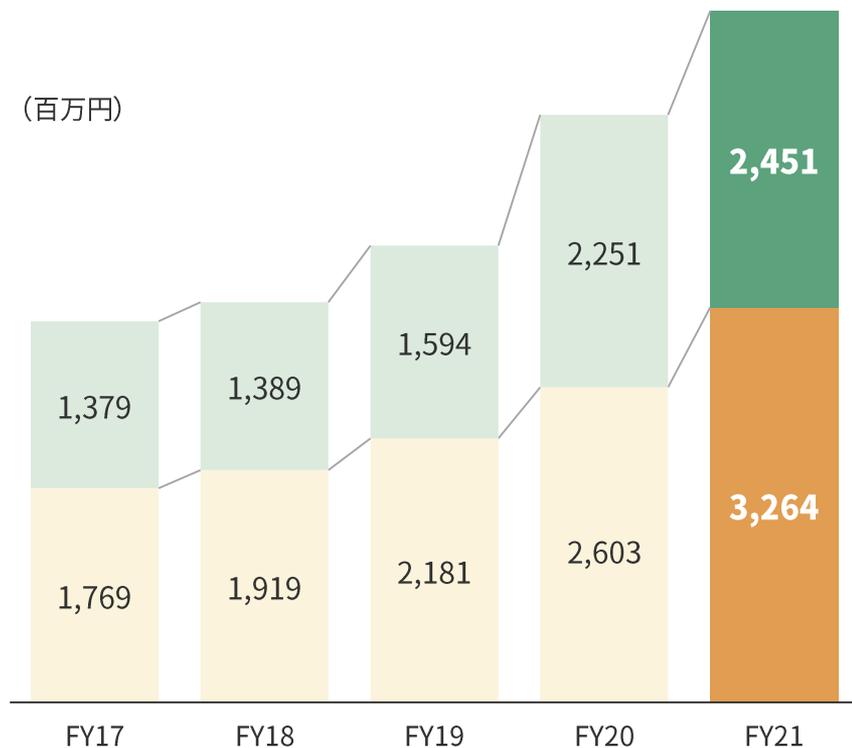


## メディア広告事業 (百万円)

**+660**  
(+25%) **3,264**



## セグメント別売上収益の推移（Q3累計）



**リードジェン事業 +200 (+9%)**

- マーケティングのデジタルシフト継続

**メディア広告事業 +660 (+25%)**

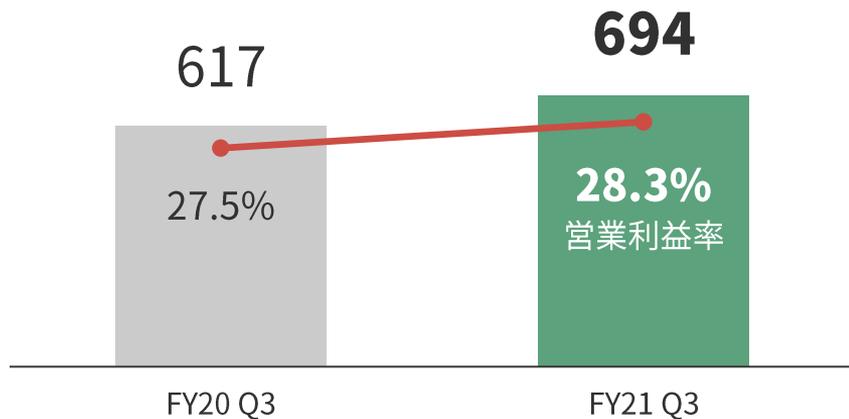
- DX加速背景に製造系・ビジネス系顧客  
ニーズ拡大

- 主催型デジタルイベント好調

- 運用型広告収益拡大

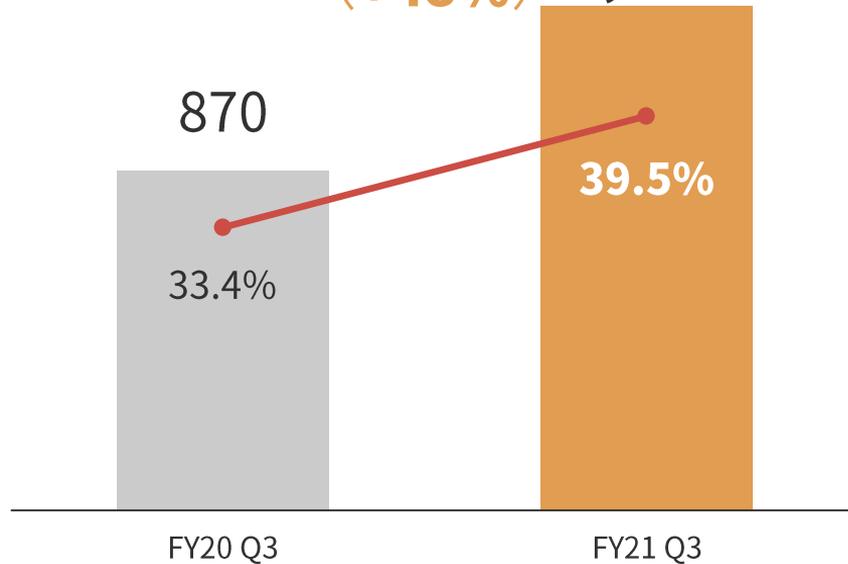
## リードジェン事業

**+76**  
**(+12%)**

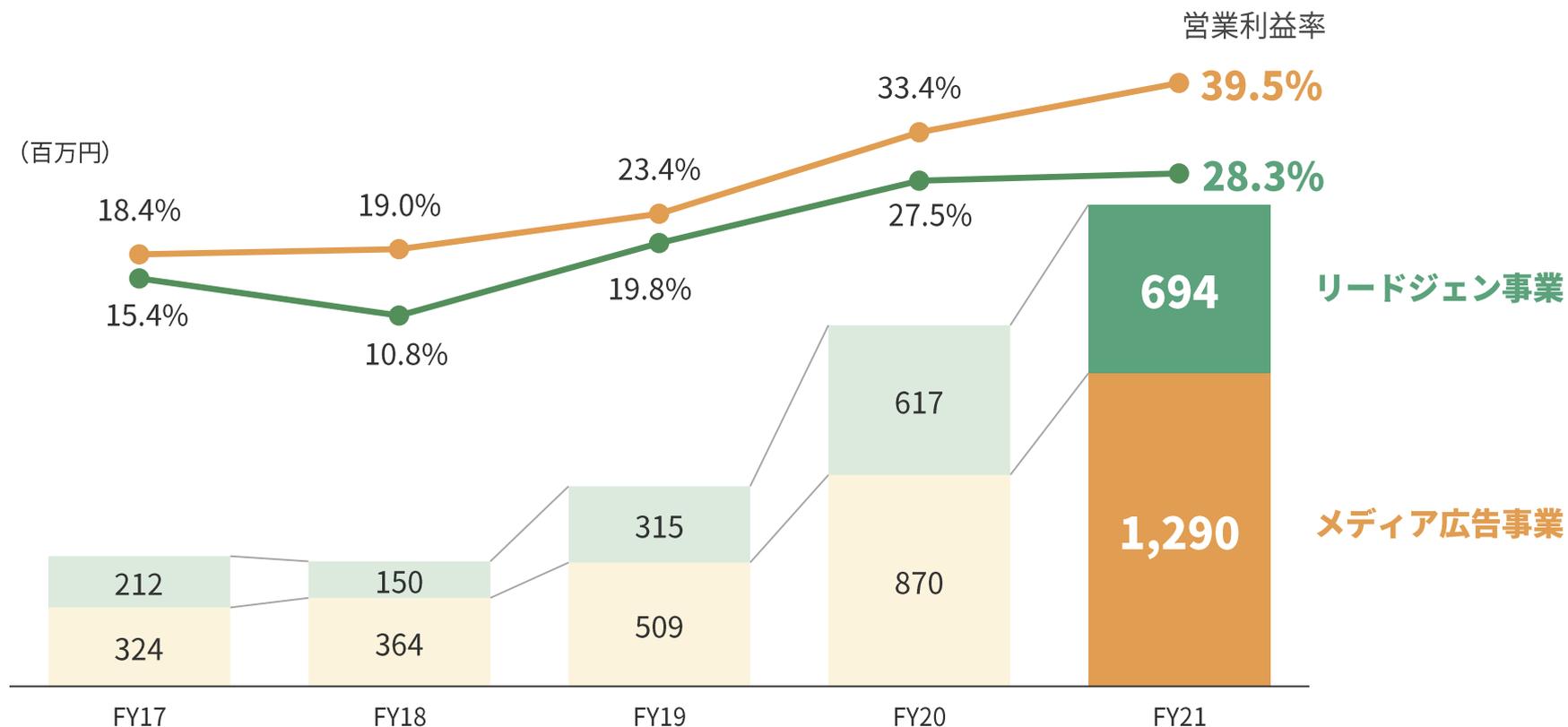


## メディア広告事業 (百万円)

**+419**  
**(+48%)**

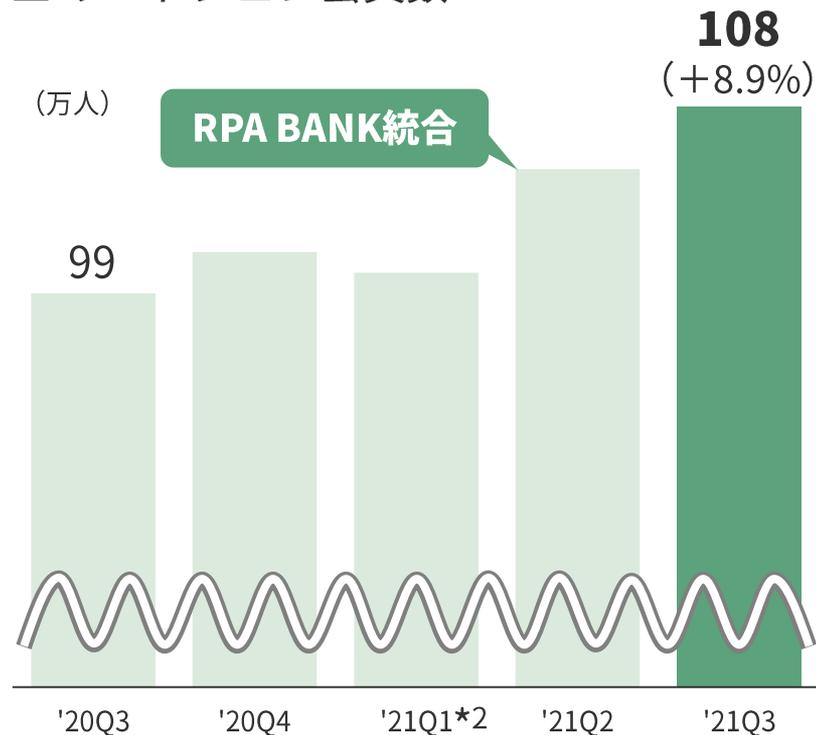


## セグメント別営業利益の推移（Q3累計）

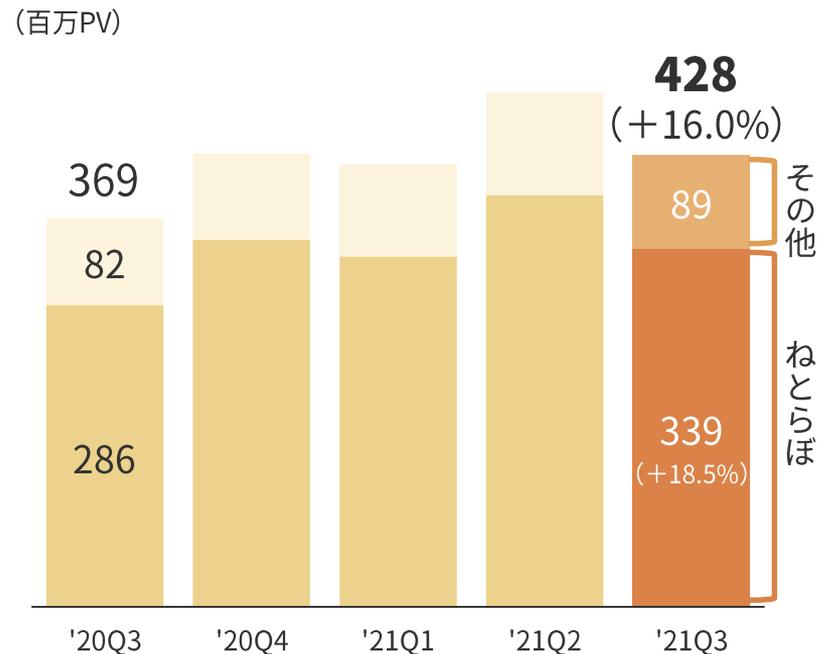


# KPIの状況：会員数およびPV 直近5四半期の推移

## ■ リードジェン会員数\*1



## ■ PV数 (月平均)

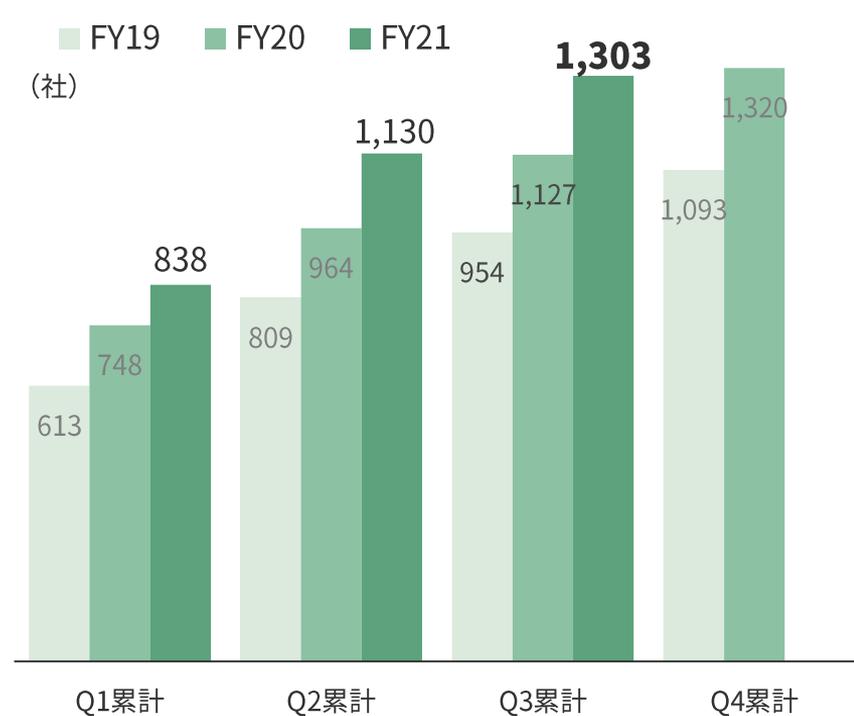


\*1：共通会員基盤「アイティメディアID」上でリードジェンサービスの対象となっている会員数

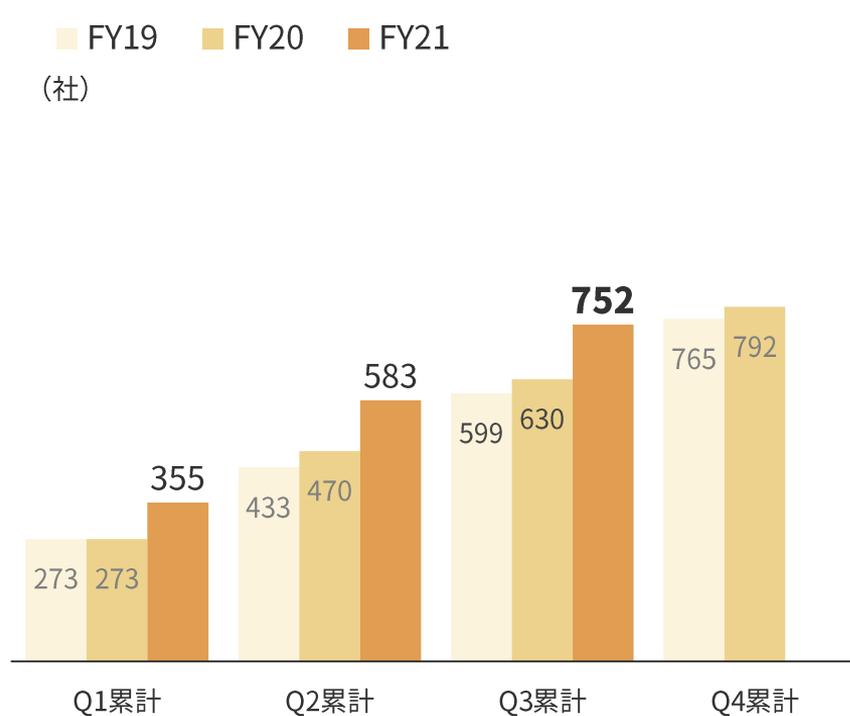
\*2：低品質データのクレンジング実施

## KPIの状況：顧客数推移

### ■ リードジェン



### ■ メディア広告



# 当社の強みとそれを支える収益モデル

当社の強み

## データを活用した 多様な収益モデル開発

広告収益



運用型広告収益



デジタル  
イベント収益



## 先進モデル企業との パートナーシップ

ON24

TechTarget



リードジェン  
収益



データ  
ドリブン収益



レビュー  
マーケティング  
収益



## データプラットフォーム

行動データ  
月間4億PV超

会員データ  
100万人超

外部データ連携

## ターゲティングされた 専門コンテンツ

# メガトレンドに応じデジタルならではの収益モデル多様化

テクノロジー時代到来  
インターネット爆発的普及



1999年～

広告収益

ITmedia

マーケティングのデジタル化



2009年～

デジタルイベント収益

2005年～

リードジェン収益

スマート&ソーシャル



2011年～

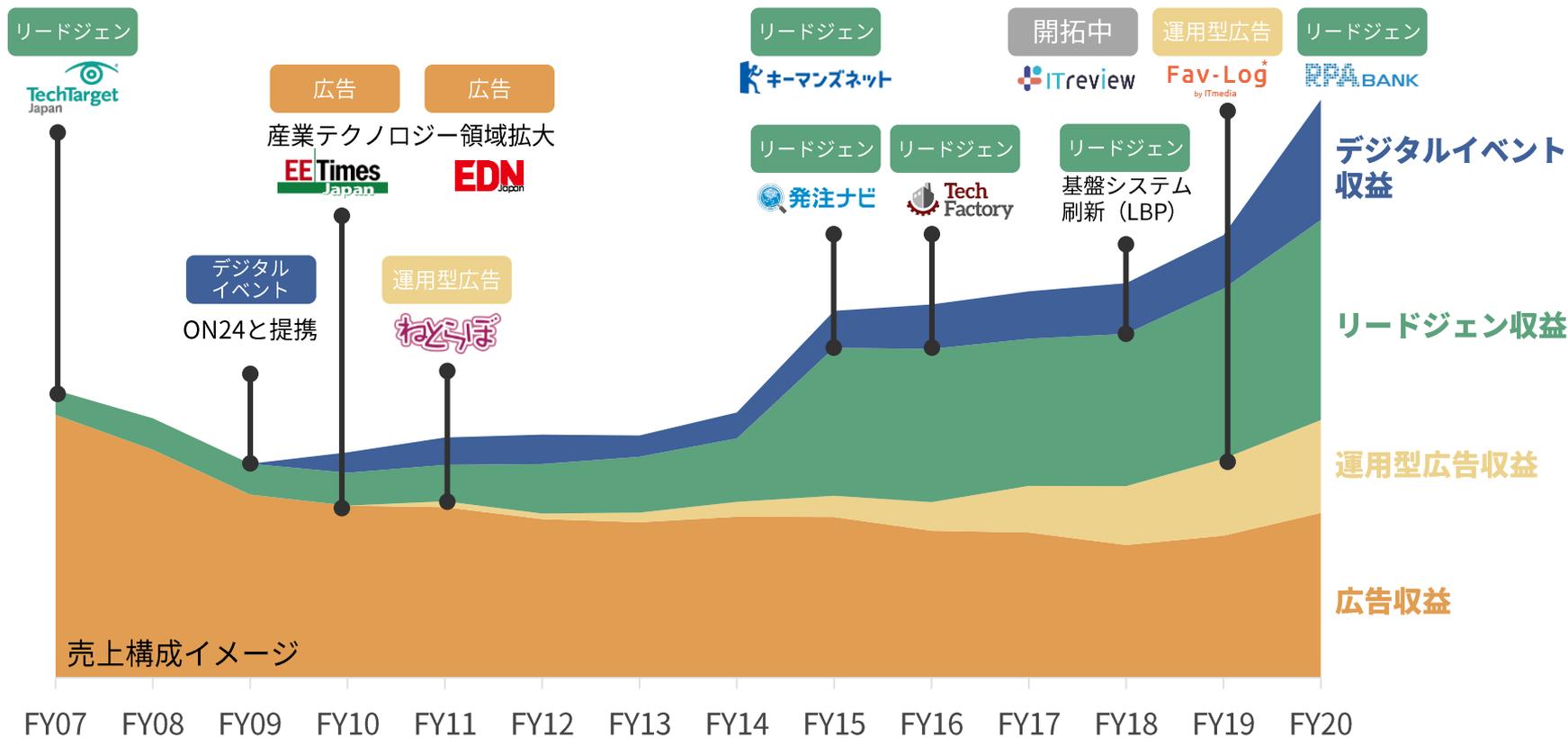
運用型広告収益

ねとぼ  
Fav-Log  
by ITmedia

TechTarget  
Japan

キーマンズネット

# 収益モデル多様化が成長に結実

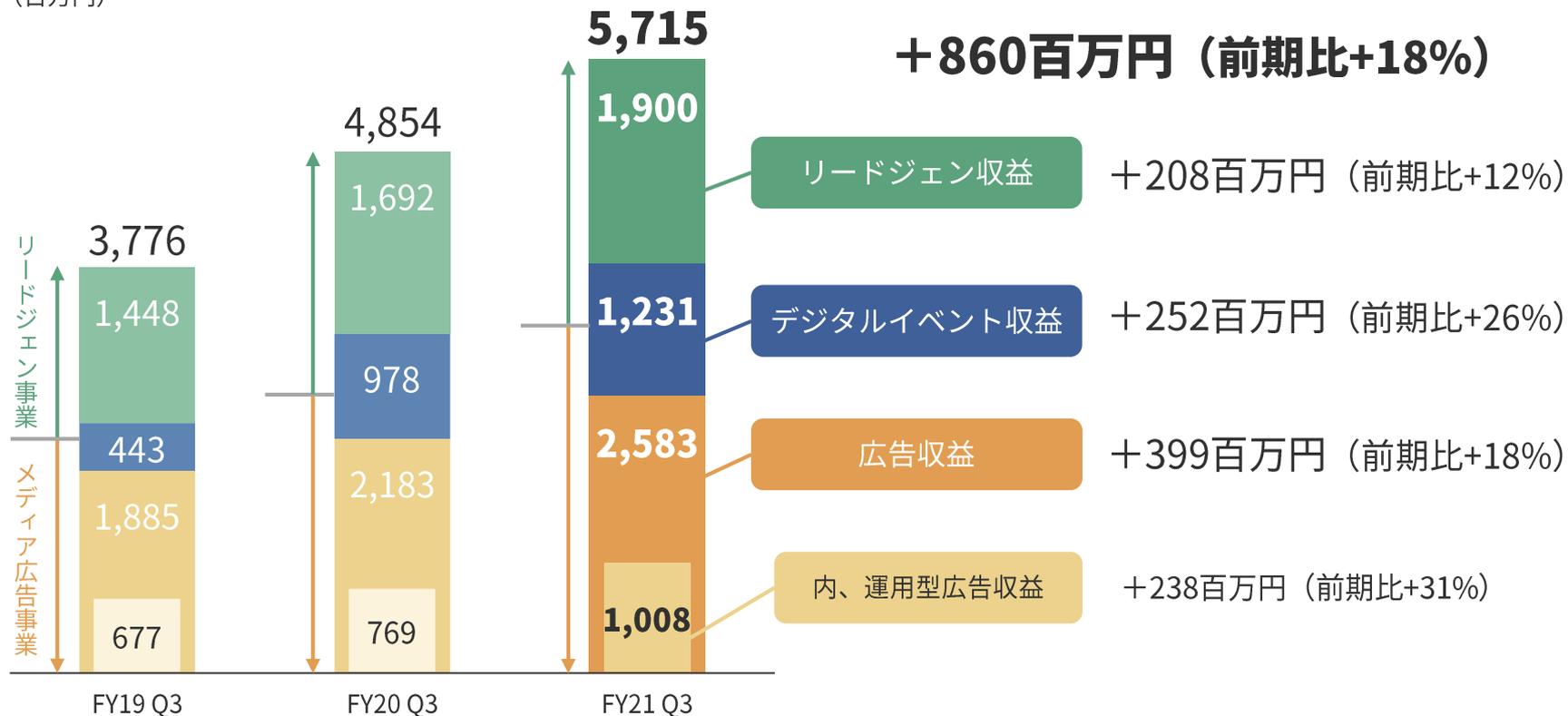


## 収益モデル別概要

セグメント	リードジェン事業		メディア広告事業		
収益モデル	リードジェン収益	デジタルイベント収益	広告収益	運用型広告収益	
収益源泉	強力なコンテンツ・メディア				
KPI	← 会員数		PV →		
提供価値	← 顧客獲得		認知獲得 →		
収益形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスリードの提供</li> <li>・インテントデータ等の提供</li> </ul>	<b>【受託型】</b> 開催支援	<b>【主催型】</b> スポンサー収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告枠販売</li> <li>・タイアップ企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドネットワーク</li> </ul>
販売形態	<b>【専門ターゲットを絞った国内最大規模の直販体制】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルマーケティングのコンサルとして幅広いソリューション一括提案</li> <li>・主な顧客層：IT・ビジネス、産業テクノロジー領域</li> </ul>			<b>【営業リソース不要】</b> 優れたアドテクノロジーを持つパートナーが販売	

# 収益モデル別売上収益の状況（累計）

(百万円)

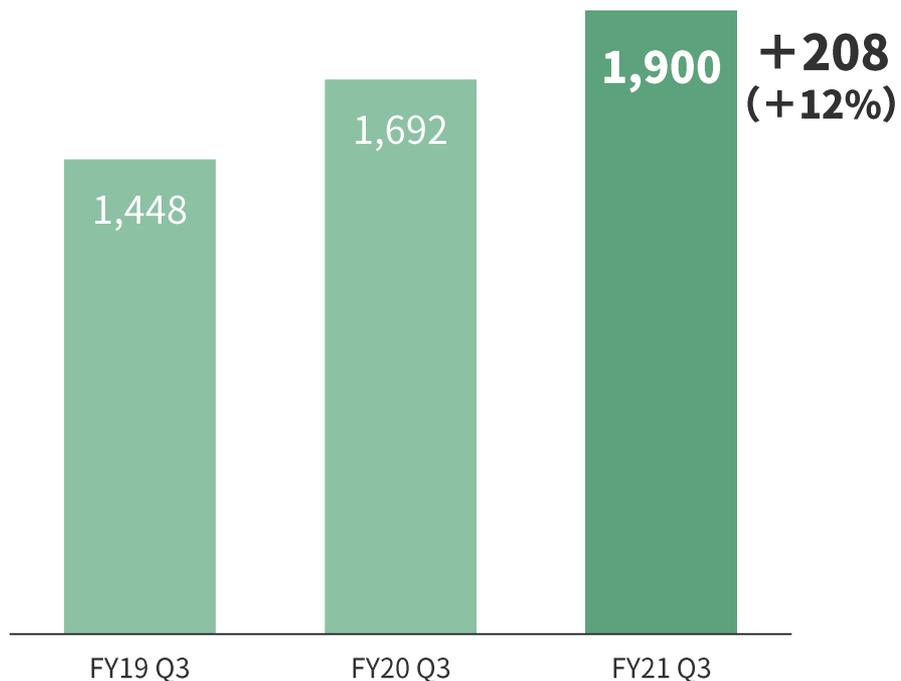


※四半期推移データ：付録資料編参照

## リードジェン収益

### ■ 売上収益推移（累計）

（百万円）



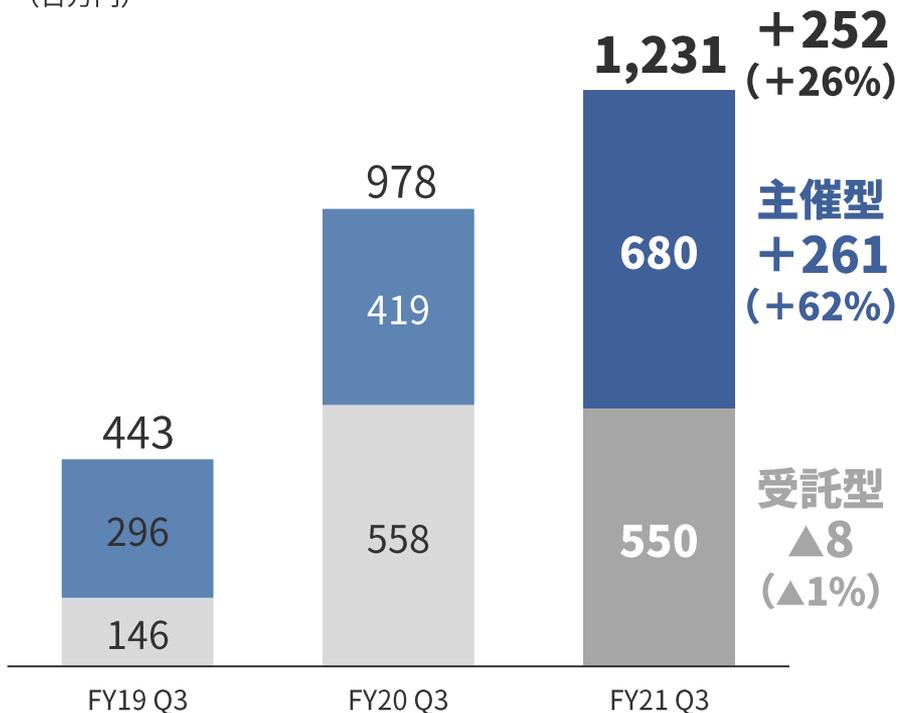
### ■ トピックス

- デジタルシフト継続、成長実現
- RPA BANK譲受：会員増  
→12月末時点：108万人

## デジタルイベント収益

### ■ 売上収益推移（累計）

（百万円）



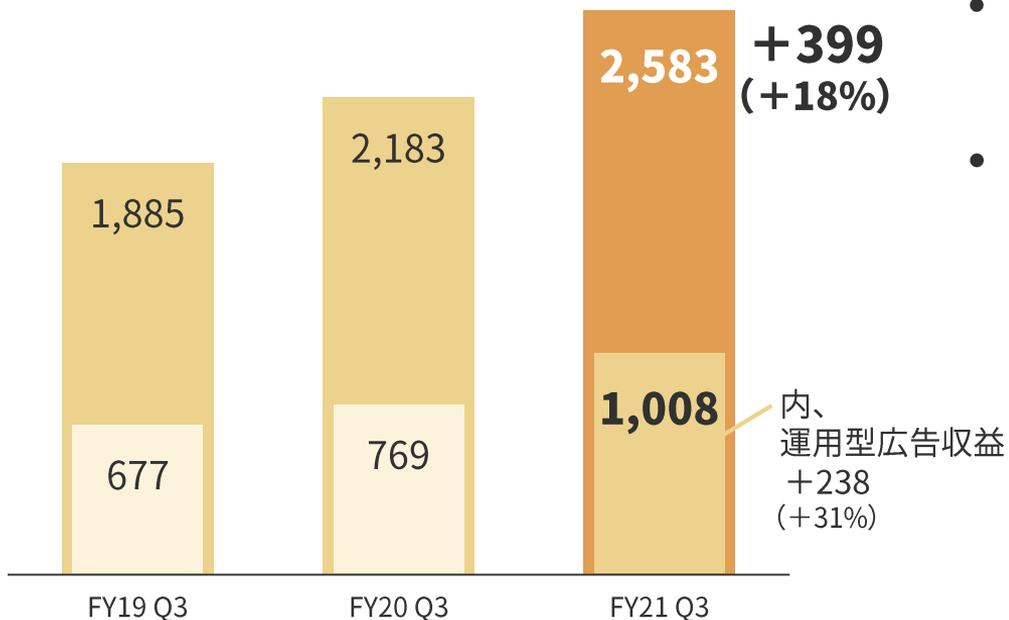
### ■ トピックス

- 主催型デジタルイベント好調
- ITmedia Security Week、ITmedia DX Summit 等各イベントの規模が拡大

## 広告収益

### ■ 売上収益推移（累計）

（百万円）



### ■ トピックス

- 運用型広告収益拡大
- DX加速背景に製造系・ビジネス系顧客ニーズ拡大

## 高成長期待領域への展開強化

クラウド・SaaS  
産業DX領域

コンテンツ強化、新規顧客開拓

デジタルイベント  
市場

主催型デジタルイベント中心に強化

運用型広告  
市場

ねとらぼ、Fav-Log強化

**中期目標：X40（2025年度 営業利益40億円）**

## 高成長領域でのコンテンツ強化 → 顧客開拓

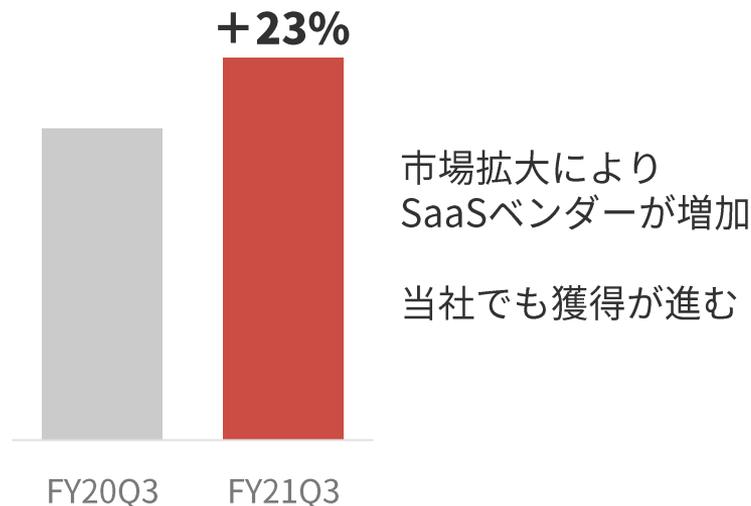
### 新メディア「SaaSビジネス研究所」

- ・2021年12月20日公開
- ・ベンダーの視点でSaaSビジネス成功のための情報を発信



<https://www.itmedia.co.jp/news/subtop/saaslab/>

### SaaS領域の顧客数の増加



取り組み：主催型デジタルイベント

## 各イベントの規模拡大

### Q3の主な主催型デジタルイベント



ITmedia **Security Week** 2021 winter  
DX推進で高まるサイバー攻撃のリスク  
待ったなし、「新常态」のセキュリティ変革

ITmedia DXsummit vol.10 **Digital Back Office Week** 2021 秋  
10/28 (木)

ITmedia DXsummit vol.10 **Cloud Native Week 2021 冬**  
既存資産を持つ一般企業のための「本気で挑むクラウドネイティブ」  
開催日時 2021 11/15 (月)

ITmedia DXsummit vol.10 **DIGITAL World 2021 winter 冬**  
デジタルで世界はもっと良く変えられる  
開催日時 2021 12/13 (月) ▶ 12/16 (木)

**INDUSTRY TECHNOLOGY FAIR 2021 WINTER** 11.8 mon - 11.30 tue  
インダストリーテクノロジーフェア 2021 冬

### Q4の主な主催型デジタルイベント

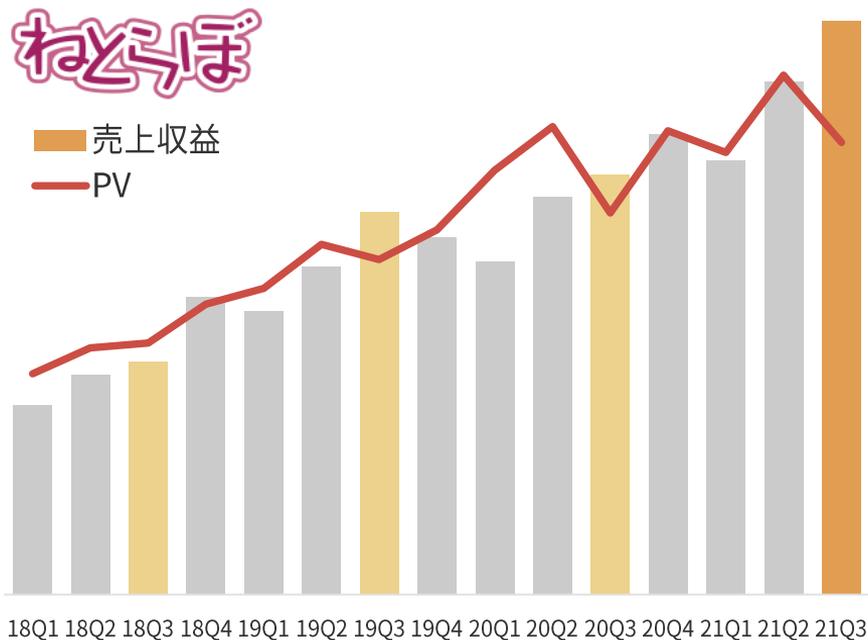


バーチャルイベント  
**ITmedia SaaS EXPO 2022 冬** 1.17 MON - 1.31 MON

2022 2/15 (火) 10時開幕  
**ITmedia Virtual EXPO 2022 春**  
— 製造業向け 国内最大級のバーチャル展示会 —

メカ設計 | スマートファクトリー | 組み込み開発&エレクトロニクス・AI | リテール&ロジスティクス サプライチェーン | CASE・自動車 | 素材

## ねとらぼ成長継続。新たな取り組みからも成果



- PV好調。広告単価改善
- 新たな取り組み：

ねとらぼ  
調査隊

Fav-Log<sup>★</sup>  
by ITmedia

# データを活用した商品開発と基盤整備

## 行動履歴ターゲティングタイアップ

メディアデータによる付加価値向上事例  
高関心層のみを誘引するタイアップ広告



## ドメイン統合

運営メディアのドメイン統合が完了

- Cookie規制のリスクケア (1st Partyデータとして統合)
- サービス向上
- セキュリティ強化

itmedia.co.jp

MONOist

キーマンズネット

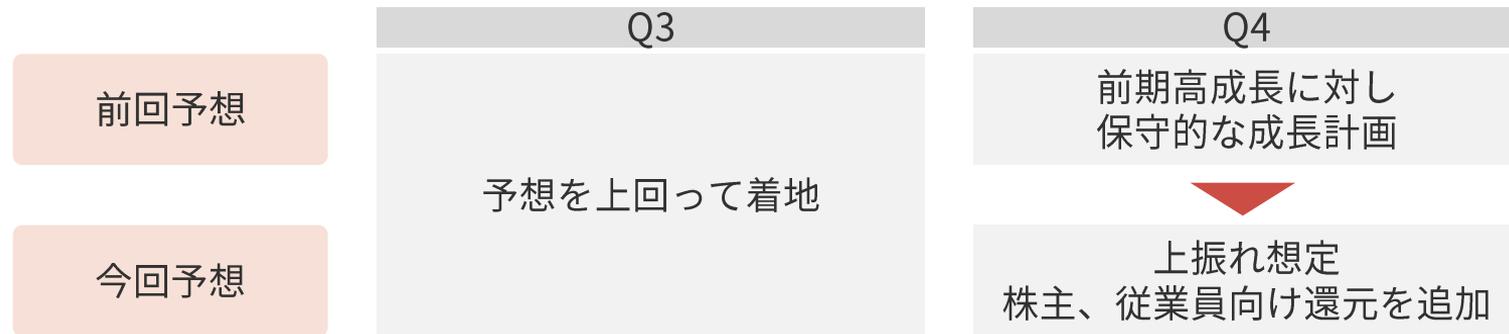
EDN Japan

EE Times Japan

@ I T a i m a r k i T

# 2022年3月期 業績予想・配当予想

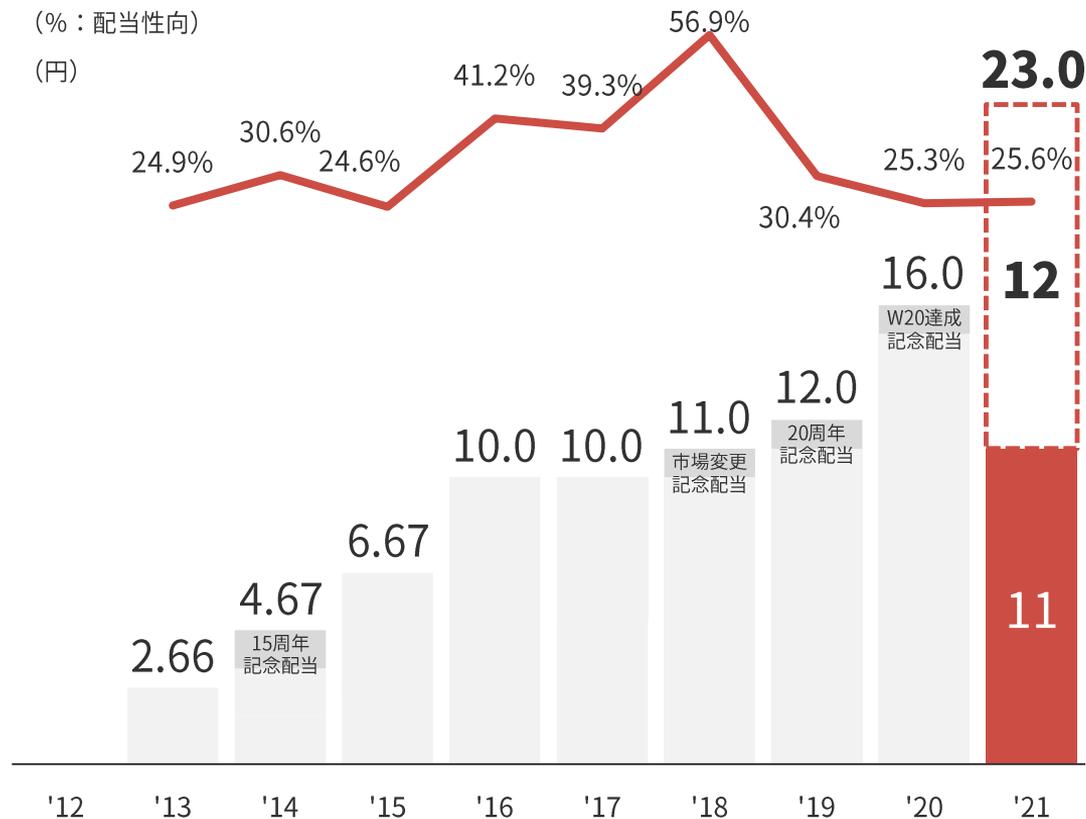
# 通期業績予想 上方修正



(百万円)	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益
修正予想	<b>7,880</b>	<b>2,620</b>	<b>1,770</b>
前期比	(+14.3%)	(+29.6%)	(+41.0%)
前回予想	7,680	2,520	1,710
修正増減	(+200)	(+100)	(+60)
前期通期実績	6,891	2,022	1,255

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 配当予想の修正



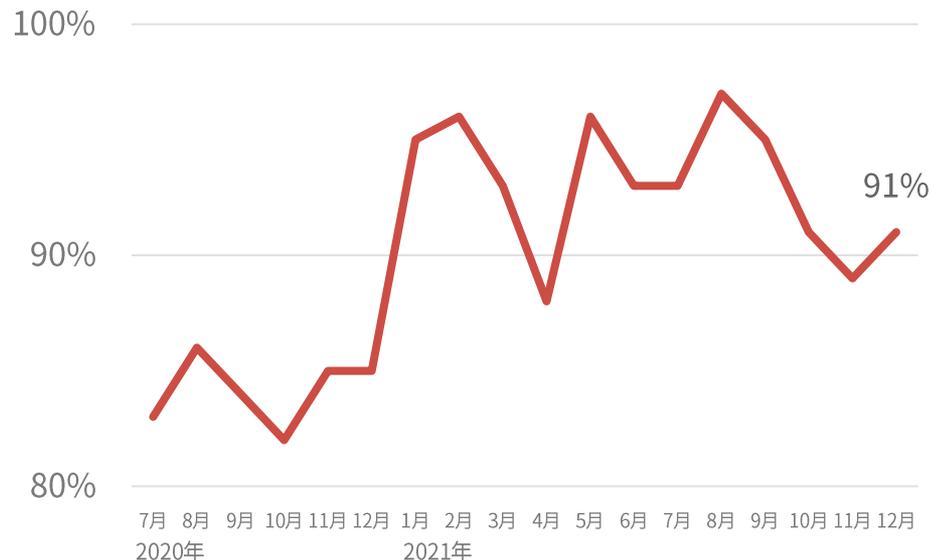
**期末配当予想  
1円増**

**11円 → 12円**

※ 自社株式の取得と合わせた当期総還元性向：70.7%

# 従業員向けに一時金支給を計画

当社従業員の在宅勤務状況



従業員の9割以上が  
在宅勤務を継続



好業績還元と  
在宅勤務環境改善のため  
Q4で一時金支給

# 「プライム市場」を選択

- ・ 2021年9月30日：当社取締役会にて決議。同日公表
- ・ 2022年1月11日：JPXより「上場会社による新市場区分の選択結果」公表
- ・ 2022年4月 4日：新市場へ移行

株主・投資家を始めとした様々なステークホルダーの支持を獲得するため、更なるガバナンスの高度化と、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

# サステナビリティ基本方針を策定 本格的な取り組みをスタート

## サステナビリティサイトオープン

基本的な方針群を整備・公開



<https://corp.itmedia.co.jp/sustainability/>

## ガバナンス体制の強化

以下を設置し独立役員の役割を強化

- ・ 指名・報酬委員会
- ・ ガバナンス委員会（特別委員会）
- ・ 独立役員会議

(参考) 指名・報酬委員会およびガバナンス委員会設置に関するお知らせ  
[https://corp.itmedia.co.jp/ir/wp-content/uploads/sites/2/2021/11/20211125\\_committee.pdf](https://corp.itmedia.co.jp/ir/wp-content/uploads/sites/2/2021/11/20211125_committee.pdf)

# テクノロジーがもたらす豊かな未来

## 当社事業が持つ基本的な価値

コンテンツによる  
情報価値提供

マーケティング  
サービスによる  
企業成長支援

サステナビリティ  
を高める企業運営

デジタルならではのメディア革新

**メディアの革新を通じて  
情報革命を実現し、社会に貢献する**



**ITmedia Inc.**



**ITmedia Inc.**

お問い合わせ先

〒102-0094  
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル  
アイティメディア株式会社

お問い合わせ : [ir@sml.itmedia.co.jp](mailto:ir@sml.itmedia.co.jp)